

現代作曲家のための

リュート/テオルボ奏法 第二回 レクチャーコンサート
(全2回)

テオルボという楽器をご存知ですか？テオルボのために曲を書いてみませんか？このコンサートでは、バロック時代のテオルボの使われ方、奏法のレクチャーと共に演奏を聴いていただき、そして来場者との交流を通して現代音楽への可能性を探ります。

第2回は公募合格者によるテオルボのための現代新作、5曲を演奏いたします。パネリストに近藤譲氏を迎え、各曲についてのディスカッションを行いながら、コンサートを通して現代音楽へのテオルボの可能性、新しいテオルボの姿を一緒に発見しましょう！

上田朝子 (リュート奏者)



東京生まれ東京育ち。5歳より桐朋学園子どものための音楽教室にてヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン専攻卒業、同大学研究科作曲専攻修了。

オランダ、ハーグ王立音楽院学部リュート科を最高得点、古楽科主席で卒業し学費満額免除を褒賞され、同音楽院修士課程を優秀賞付きで修了。16世紀初期のリュートの編曲技法を論じた修士論文は同音楽院で最高得点及び映像発表最優勝賞を受賞。現在、パーゼル・スコラ・カントルム中世・ルネサンス科修士課程に在籍中。ピアージョ・マリーニ古楽コンクール第1位、ファン・ヴァセナール古楽コンクール第3位受賞。古楽のレパートリーにとらわれず、中世から現代まで幅広い音楽を演奏している。アンサンブル室町での活動を始めとし、新曲初演も積極的に行っている。

近藤 譲 (作曲家)



作曲家。1947年生まれ。東京芸術大学作曲科卒。ロックフェラー3世財団、ブリティッシュ・カウンシル等の招聘でニューヨーク、ロンドン等に滞在。内外の多くの国際音楽祭にテーマ作曲家として招かれ、又、欧米の様々な主要機関・演奏団体から作曲委嘱を受けている。作品は、オペラやオーケストラ曲から、室内楽、独奏曲、声楽曲、電子音楽までの広い範囲に亘って、145曲を超える。それらの多くは、内外で頻繁に演奏され、CDに録音されている。そして、ほぼ全作品の楽譜がイギリスのヨーク大学音楽出版局(UYMP)から、一部の作品が、ニューヨークのC.F.ピータース社から出版されている。また、6冊の著書を始めとする活発な文筆・翻訳活動を展開。永年、お茶の水女子大学と東京芸術大学で教鞭をとり、国外の大学・研究機関での招待講演も数多い。

お茶の水女子大学名誉教授。アメリカ芸術・文学アカデミー海外名誉会員。

第2回

10月16日(日) 13時30分開場 / 14時開演

星陵会館 多目的ホール【4F】

東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅6番出口より 徒歩3分
東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅 5番出口より 徒歩5分
東京メトロ南北線 溜池山王駅5番出口より 徒歩5分
東京メトロ銀座線・丸の内線 赤坂見附駅11番出口より 徒歩7分

チケット:

一般1,500円 学生1,000円

電子チケット Live pocket →→

メール予約 asako.ueda.lute@gmail.com



第一回レクチャーコンサートの模様はこちらから→

(チケットご購入いただけましたら、アーカイブのリンクをお届けいたします。)

